

どうぞよろしく

今年度、3名の先生方を迎えてスタートしました。
どうぞよろしくお願いいたします。

◇多内京子先生



子どもたちの笑顔とパワーに負けないよう、人間磨きと体力づくりに励みながら、がんばっていきたいと思います。



◇クレア・パンガナイ先生



今年から英会話を担当します。鳥取大学農学部大学院生です。南アフリカのジンバブエ出身で、日本に来て2年になります。附属小のみなさんと楽しい英語学習ができるようがんばります。



◇豊田真理先生



栄養教諭として、みなさんが大好きになれる栄養満点のおいしい給食づくりに努めます。よろしくお願いいたします。

子どもの広場

【入学おめでとう】



4月9日、桜が咲くより一足先に、69名のかわいい1年生が附属小学校にやってきました。入学式では、6年生に手を引かれ、花のアーチをくぐって入場し、緊張した表情でステージの上に並びました。副校長先生が読んだ祝電の「おめでとうございます。」という言葉にも、声をそろえて「ありがとうございます。」と応える姿に、会場には温かい笑いが起こりました。

教室に入ってから、とてもよい姿勢で話を聞き、立派な小学生になりたいという意欲が感じられる1年生でした。

【旅の学校】

旅の学校の3日間は、子どもたちの笑顔とひたむきなまなざしに満たされたものとなりました。特に広島での平和学習は充実したものでした。

原爆講談では、講談者のメッセージを受け止め、今の自分の思いや考えを進んで素直に伝える子どもが多くいました。ピースボランティアさんといっしょの資料館見学・碑巡りのときには、平和学習の目的の一つ「広島へ行かないとわからないことがある」というテーマの意味を熱心に探っていました。夜の学習会も、活発に意見交換を行うことができました。



この3日間で学んだことをこれからの学習や生活につなげていきたいです。また、旅の学校では、保護者の方をはじめ多くの人が様々な立場で支えてく

さいました。支えてくださった人たちへの感謝の気持ちを忘れないようにしたいものと改めて子どもたちと確認しました。

【砂の学校】



雨のため延期になった今年の砂の学校は、近年にない風の弱い爽やかな天気のもと、5月7日に行うことができました。

まず、きょうだい学年で手をつなぎ、砂丘を歩いて横断。6年生は1年生を気遣いながら下のルートを、2、4年生と3、5年生は張り切って砂山の上の方まで登りました。赤、黄、緑の縦割りグループの対抗戦では、砂丘を走る中距離走、松ぼっくりをたくさん集める競争で赤組がトップになりましたが、その後の砂もり競争や綱うばい競争では、緑組が大逆転しました。

お弁当の後、6年生がリードしておにごっこなどを楽しみ、異学年交流が深まったようです。

「先生、見て見て!!」

米嶋 美智子

朝休憩のとき、

「先生、見て見て。一輪車に少し乗れるようになったの。」

と一輪車に乗ってみせてくれたのですが、残念。失敗しました。

でもあきらめないで、

「もう一回見てて。」

と一輪車に乗ると、

「乗れた!」

とうれしそうに私を見ました。

「すごい、すごい。できるようになったね。どんな練習をしたら乗れるようになったの?」

と尋ねると
「こうやってね、休み時間に練習していたらできるようになったの。」

と輝いた目で生き生きと話してくれました。そして子どもたちは再び一生懸命練習し始めました。私は、何度も何度も繰り返し健気に頑張っている姿をほほえましく思うと同時に、やりと

げた嬉しさに共感しました。
人の心の成長には、気持ちを素直に表し、表した気持ちを他者に受けとめてもらう体験が必要です。このような体験を積み重ねていくことで、子どもたち自己肯定感が育っていくのです。



